

# 山梨医療安全研究会会報 2016.5

## 会長挨拶

会員の皆様 いつも山梨医療安全研究会にご参加いただき心より感謝いたします。今年度も1ヶ月が過ぎ、あわただしい日々をお過ごしのことと思います。

本研究会も4月から事務局を県の中心から東部地域に移転し、来年度の一般社団法人化を視野に入れた取り組みを始めました。これまでの10年間、皆様のご支援を頂き様々な医療・介護の安全への取り組みを進めて参りました。これからの10年は、医療と介護の場が院内から地域へと拡がりを見せるに伴い、患者や利用者の安全を確保する取り組みの考え方や方法も多様になります。本研究会は皆様からのご意見をもとに、今後さらに活動を推進し、県内の医療・介護施設のすべて職種と連携し、安全の質の向上に寄与したいと考えております。今年度の研修会では、小松原明哲先生を再々度お招きし、昨年度から更にバージョンアップしたノンテクニカルスキルの考え方を学び、寺井峰子先生からは患者確認の効果的な方法についての知見をお教えいただきます。多くの方々のご参加を宜しくお願いいたします。

山梨医療安全研究会 小林美雪

## リスクマネージャー紹介 No.8

社会福祉法人山梨檜の会 介護老人保健施設甲府相川ケアセンター

研究会と共に  
頑張りました!



介護課課長 平松幸記  
リハビリ課課長 大久保規江  
医療安全研究会役員 坂本祐子

私共の施設ではご利用者の多様なニーズに応え、一貫性を持った支援を行うために多職種協働で日々のケアを行っています。リスクマネジメント委員会には、医師、看護師、リハビリ課、栄養課、介護職、支援相談員、生活相談員が所属し事故・感染防止・災害対策・安全衛生などの検討、対策立案、研修会を行い施設全体のリスク管理の徹底を図っています。

今後は研究会への参加も積極的に行いながら、医療、介護の安全にチームで取り組んでいきたいと思っております。

## 第11回山梨医療安全研究会大会

2016年3月6日(土)、第11回山梨医療安全研究会大会が開催されました。午前中は医療安全への取り組み実践報告、午後からは研究活動報告として「A 県内の病院における大雪災害時の取り組みと安全上の課題」についての報告と、東京大学大学院法学政治学研究科教授の樋口範雄氏による「新しい医療事故調査制度-制度開始半年」と題しての特別講演を行いました。

特別講演では、樋口氏から昨年10月から開始された医療事故調査制度に直接的に関与しているなかで感じられている制度の成立過程での問題点と、現制度を運用するなかで、医療者の安全意識が向上し医療安全に寄与する仕組み作りが求められることが語られました。「制度は文字通り第1歩に過ぎない」「マイナスからプラスを何とかして生み出すこと」という言葉に、今後さらに私たち医療・福祉・介護に携わる者の責任ある姿勢が問われると感じました。

### 【医療安全への取り組み実践報告】

12 演題の報告があり、下記の演題が参加者の投票で選ばれました。

最優秀賞：国立病院機構甲府病院 田之上久美子さん

「気づきあう風土をめざした0(ゼロ)レベル報告を増やすとりくみ」

優秀賞：甲府相川ケアセンター介護福祉士 餐場大輔さん

「統計からみるリスクマネジメント」

特別賞：山梨大学医学部附属病院 山中浩代さん他8名

「採血室における患者急変時対応シミュレーション」

～Team STEPPS を取り入れたチームパフォーマンスの向上～

富士吉田市立病院 渡邊美香さん

「救急外来における患者誤認防止対策の統一」

北杜市立甲陽病院 菊地佳代子さん他1名

「インシデントレポートシステムの効果的活用」

～セーフティマネージャーの活動を通して～

※大会の様子は、3月7日 山梨日日新聞にも掲載されました。



## 2016年度 山梨医療安全研究会主催 医療安全教育セミナー

セミナー会場：山梨ぴゅあ総合

●第1回 8月27日 土曜日 13時～16時  
「ノンテクニカルスキル 医療安全のレジリエンス」  
今年も聴講したいというご要望が多く3回目の山梨塾！医療安全管理や教育、実践で悩むあなたの解決策となるヒントを必ずもらえます。  
講師：小松原明哲先生 早稲田大学理工学院教授

●第2回 10月22日 土曜日 13時～17時  
「事例分析手法を学ぶ 時系列関連図を用いて」  
事例を用いて分析手法を学びます。時系列関連図の作成から要因分析まで。基本を学び各自の施設で活用しましょう。  
講師：小林美雪先生 健康科学大学看護学部

●第3回 12月17日 土曜日 13時～17時  
「確実な患者確認を考える 安全の質の向上」  
確実な患者確認とは？日常で行われている患者確認方法を見直しましょう。確認作業の標準化と一緒に考え、組織で行動できるシステムをつくりましょう  
講師：寺井峰子先生 名古屋大学医学部付属病院 医療の質安全管理部

●施設見学 11月12日 土曜日  
シミュレーションで学ぶ 患者急変時の対応 実施場所は検討中です。随時お知らせ配信します

お問い合わせ  
山梨医療安全研究会  
医療安全セミナー事務局 〒402-8580  
山梨県都留市四日市場909-2  
健康科学大学看護学部 成人看護学(小林)  
TEL 0554-46-6630  
FAX 0554-46-6630  
e-mail m.kobayashi@kenkoudai.ac.jp

### ぴゅあ総合の地図



### 年会費納入等の お願い

本年の年会費の振込みをまだお済みでない方は、早めにお願ひします。また、医療安全に取り組む多くの職種の方にお声かけください。宜しくお願ひいたします。

## 書評コーナー(第2回)

看護師・研修医・臨床工学技士のための救急ICUのME機器らくらく攻略ブック  
～さらば機械オンチさらばME機器トラブル～

日本大学病院 三木隆弘 編著 メディカ出版

救急・集中領域では様々な医療機器を使用し一人の患者さんを救命します。機器の専門書は色々難しく書いてあり、勉強しようと思っても、買っただけで満足してしまう事があるませんか？そんな時、この本は、僕ら臨床工学技士の仲間たちが救命臨床工学技士戦隊CECCM9となり魔のME機器トラブルから患者さんを守りぬくストーリー形式で大変分かりやすい1冊となっております。この本を読めば苦手のME機器も明日からは大好きになれると思います。

(甲府城南病院 臨床工学技士長 石井仁士)

